

## 機能性表示食品届出者養成講座、第一期生の声(2017/01-06)

### 健康食品会社社長（男性、富山）

会社の業務が、健康食品の販売や企画のため、食品表示法等、健康食品についての法律について一通り知っているつもりでしたが、地方でかつ、中小企業ばかりを相手にしていると、トクホや2015年から始まった機能性表示食品について案件を扱うことは皆無で、手をこまねいている状態が続いておりました。そんなときにメルマガで見つけた「機能性表示食品届出者養成講座」に目が止まり、一も二もなくプレ講座に参加しました。

参加すると、予想は的中、自分に足りないものが明快に解説され、目からウロコの講座でした。ただ、これから半年、毎月2回行われる東京での講座は、殆ど自分には無理なように思われ、当初はウェブ動画のみの会員として登録させていただきました。

最初だけはリアルだと1回目の講座に出ると、その場で質問ができ、後半のハンズオンのワークショップがあり、さらに毎回持田先生と机を並べる皆さんとの懇親会もあることを知り、いかにリアル講座の方がメリットが大きいかということを感じ、その日即座にリアル講座に変更させていただきました。

毎回の講座は、時間が長いにもかかわらず、とても楽しく感じられました。講座の資料は潤沢で充実しており、持田先生の解説はこれ以上ないほど懇切丁寧で明瞭だし、また、毎回お呼びいただくゲストスピーカーは、そのトピックで最もふさわしい業界の Mr. X ばかりで、とても貴重な経験をさせていただいたと本当に感謝しております。

この講座の内容に触れて感じたことは色々ありますが、特に以下のものが残りました。

- 様式Vの作成については、今のところ自分だけでは無理。
- ダブルクリームや、ダブルSRなど、テクニカルな手法を使うことで差別化ができる。
- 機能性表示してメリットがある商品と、そうでない商品がある。

当然、この講座はビジネス講座ですので、実際のビジネスに活かしてナンボというところがあります。今後、持田先生がスタートされる新会社でお手伝いすることも、その実現する場所の一つですが、健康食品の受託・企画をしている会社として、「機能性表示食品届出業務請け負います」と周囲に伝え始めました。特に、そうした意識が薄い地方にあっては、まだまだ開拓の余地があるように思われます。これから、じっくりとホームページを作り直そうと思案中です。

半年間、本当にありがとうございました。

## 大手健康食品会社、商品開発担当（男性、東京）

持田先生、講師の先生方、事務局の皆様方、この半年間どうもありがとうございました。

今の会社で機能性表示食品の申請を携わってはいましたが、美容や抗肥満などの厳しいジャンルということもあり、自己流で申請し何度も消費者庁に突き返されていました。もっと機能性表示食品の申請技術を習得したいなと思っていたところ、この講座に巡り合い、自己啓発も兼ねて早速受講することに決めました。

持田先生を初め実際に申請している先生方のリアルなノウハウやポイントなどを教授いただき、消費者庁に文句を言わさないためには本当に細かい点まで気遣わなくては行けないことを痛感しました。

さらに講座の半年間の中で、次々と最新の情報を教えていただき、「昔の申請は昔」と言えるような自信も付きました。

受講者の方は、業界、住所、年齢、性別といろいろであり、最初は打ち解けるのが大変かなとも思いました。しかしながら毎講座終了後の懇親会によっていろいろなお店にも行けましたし、そこで露わになるキャラクターなども知り、仲良く講座を受けることができました。

また、講座では聞けないようなオフレコ情報など、毎回の懇親会は楽しみで皆勤することができました。

後半では「ほうれん草」で盛り上がり、皆でやれば何か面白いことができるのではという可能性を感じました。このようなつながりを折角いただいたので、今後の自分の業務だけでなく、皆で行うビジネスに参画貢献できたらいいなと思います。

本当に充実した半年間でした。ありがとうございました。

## IT ホームページ制作会社社長（男性、京都）

私は異業界からの参加であり、学習範囲が多岐に渡るため独学では無理と考え、この講座を受講いたしました。初めて耳にする言葉、内容が多かったことありますが、機能性表示食品の届出をするには、これだけ多くのことを学ばなければならないということが身にしみてわかりました。非常に内容の濃い講座でした。

半年に渡り、届出ガイドラインや各法令など丁寧かつ詳細に解説いただきましたが、それ以外にも実際の届出業務、コンサル業務の中から得た知見を惜しげもなく公開され、様々な問題に対処するその方法が実践的かつ秀逸で、感嘆するばかりでした。

業界裏話、景品表示法による肩たたきから逃れるテクニック、商品開発の裏技など、他では聞けない話が満載で、長時間の講義でも退屈することなく受講できたことは幸いです。講師やスタッフの方の丁寧な準備、快適な環境を用意していただいたおかげですね。ありがとうございます。

普段お会いすることのできない多彩なゲストスピーカーからのお話も印象深く、特に、生鮮食品での届出をされたS社さんの情熱は心に響きました。厳しい環境に置かれている生鮮食品流通の現状を打開するため、届出にこぎつけ、注目を浴びるように仕掛け、相乗効果が生まれ、売上増に結びつけたという絵に描いたような成功事例です。

やはり、ただ単に機能性表示食品にすれば良い、届出が受理されれば良い、それだけがゴールではないですね。その先の販売戦略、売上増、認知度アップに繋げられる届出内容でなくてはならないと感じます。

その辺りのことも講義の中でしっかり習いました。これからの自分の活動の中でどう活かしていくか。いつか成功事例に関われるようになりたいと思う今日この頃です。

## 行政書士（女性、神奈川）

薬事三法の基礎から教えて頂けるだけでなく、  
SR 作成、食品表示、関与成分の詳細、生鮮、  
そして最新の届出情報まで、幅広く学べるとても有意義な講座でした。

届出のノウハウ、不備指摘の事例まで詳細に解説して下さるだけでなく、  
実際に届出情報を入力し、パッケージの表示まで確認する、実践的な講座です。  
特に不備指摘の事例には驚きました。  
普通では想像できないような内容だったからです。  
それを知ることができただけでも、貴重な経験です。

更に講師陣が素晴らしいです。  
多分他の機会ではお目にかかれなような、「その道のプロ」が沢山来てくださります。  
SR 作成の一人者から伺うことのできる、検索方法、SR の内容の説明は、とてもわかり  
やすいのですが、あまりに膨大なので、後から動画を見返しました。そこでようやく理解  
できたような気がします。わからなくなっても動画で見返すことができることもメリット  
です。

食品表示の奥深さ、機能性表示食品としての表示事項も丁寧に教えて頂きました。膨大  
な関与成分の詳細を学ぶことにより、サブリの処方ができそうな気がします。あの原料と  
この原料は相性が良いなんて、何十年も開発をしていないと得られない知識だと思います。  
最新の情報から、気を付けた方がよいこと等を学ぶことができ、あっという間の6か月で  
した。

楽しい仲間にも恵まれ、その後の懇親会でも盛り上がりましたこともよい思い出です。  
内輪ネタですが、冗談半分で株式会社ポパイ、株式会社オリーブを立ちあげようと皆さん  
で話した事業が現実になるとは思いませんでした。知識と実行力のある人々に出会えただ  
けでも財産です。

また二期生という仲間が増えると、更に面白い事業が立ち上がりそうで、  
とても楽しみです。

## 外資系原料メーカー、営業（男性、神奈川）

機能性表示制度が開始されるという報道がなされた頃、私が勤める食品原料を扱う会社として制度へ参加することによるメリットを検討していましたが、制度の届け出の難易度やコストの面で把握が難しい点が多々ありました。制度開始が迫る中、ある食品展示会にて持田先生による表示制度に関するセミナーを聴講し、制度の概要や概算をある程度把握することができただけでなく、ビジネスチャンスが転がるまさにブルーオーシャンであることも理解できました。その際、持田先生から直接、「原料会社としてはこれからはビッグチャンス」とのお言葉をいただいたのも、強い後押しとなったのを覚えております。

聴講後、取り扱っている原料について本制度に適合するか確認しようと試みましたが、具体的にどのような手順で何を確認する必要があるかわからない点が多く、すぐに壁にぶつかることとなりました。

何の動きもとれない状態のまま制度は開始されてしまい、届出自体を諦めようと考えていたときにこの届出養成講座開講のお知らせがあり、渡りに船とばかりに参加を決意致しました（転職のためのスキルアップの考えもあり、個人として参加）。

講座は私が希望していた通りの実践ベースの内容であり、届出に必要となる情報が明快となっただけでなく、大きな収穫もありました。

以下、この講座で受けて印象に残った部分をリストします。

### 1) ルテインを機能性成分と仮定し、実際に届出様式を作成及び添削。

→この作業により、ガイドラインの理解度が飛躍的に高まりました。届出に必要となる情報やコストも明快となり、機能性表示食品を作りたいというお客様へのコンサルタント（問診）も可能となったと考えております。

これらの作業の参考として講義でいただいたルテインの届出例やそれに付随する各種ファイルだけでも受講する意味のある大変貴重なものでした。

### 2) 機能性表示食品に関わる現職のスペシャリストの方々による講義

→受講前、届出は自分一人で進めていくと考えておりました。しかし、各界のスペシャリストの方々のお話を聞いているうちに、この方々に知識レベルや実績で太刀打ちできるはずもなく、任せるべきところは専門家に頼り、自分はコーディネーターに徹するべきとの考えに至りました。その意味でも、持田先生を含め今回のゲストの方々につながりができたことは大きな宝となりました。

### 3) リアル講座での受講

→web 版での受講も考えましたが、リアル版での受講で大正解でありました。不明な部分を即質問できるだけでなく、資料を見ながら解決していく場面も多かったため、web 版では理解しづらかったと予想されます。

また、講義終了後の懇親会も web 版では体験できないものでした。気分転換の意味もありましたが、持田先生やゲストの方に授業では質問しづらいことを気軽にお伺いできたのは重要でありました。

### 4) 学び仲間との出会い

→忘れてならないのが一緒に受講された方々との出会いです。前述でも記載しましたが、届出は一人で行うには限界があるため、つながりが非常に重要と考えております。受講された方々は幸運にも協力的な方が多く、同じ仲間として、わからない部分は共感し、一緒に解決に向けて講義を進めていくことができました。このつながりも今後の宝になると確信しております。

この講座は個人で申し込んだため、正直、受講料を捻出するのに苦労しましたが、上述のように得られものが非常に多く、受講して本当に良かったと実感しております。

本制度の状況は早い速度でアップデートされていくため、日々アンテナを張り巡らせて情報を収集していく必要がありますが、講義で学んだ知識、先生方や仲間の力をお借りしながら、自らもアップデート（進化）していきたいと思っております。

本講義では貴重な資料を惜しみか隠さず提供いただき、感謝申し上げます。また、半年間、本当にありがとうございました。二期生の講義の成功を心よりお祈り申し上げます。

## 健康美容機器、健康食品などの通販会社、商品企画（女性、名古屋）

健康増進や美容目的のいわゆる健康食品やサプリメントは、通販という業界の仕事に携わっている中で取り扱うことのある商品群ではありますが、実際にはなかなか成功させるのがとても難しい課題分野でもあり、今後の商品選定および商品開発におけるネクストステージとして“機能性表示食品”が示唆されておりました。なぜなら、機能性表示食品制度が施行されて以来次々と“機能性表示食品届出”という冠を付けた商品が発売され、それをすることで他社では売り上げが何倍にも伸びた！などの情報が耳に入ってくるようになったからです。

それもそのはずで、機能性表示食品の届出をすることで、いままではやんわりぼんやりとしか謳えなかった、商品の一番売りたい効果効能訴求が実現できるようになるからですよ。それがわかっているなら、じゃあ機能性表示食品やりましょうよ！といって思いついたらすぐにできるようなものでは到底なく、機能性表示食品届出のガイドライン 121 ページと聞いただけでも倒れそうになるほど一筋縄ではいかないものでした。まず、ガイドラインを読み解くのすら非常に難しく、頑張っただけで独学で一読してみたものの、なんとなく感覚的におおまかな基本定義を捉えるのが精一杯でした。

けれども、今回この「機能性表示食品届出者養成講座」に参加させていただき、バラバラで曖昧だった知識を体系化して習得することができました。基本的な定義の説明にとどまらず、届出の事例に基づいたケーススタディが何度も繰り返されました。実際にあった消費者庁からの不備指摘を取り上げて、どこがどうダメでどのようにすれば適切になるのかを噛み砕いてご説明いただけるなど、かゆいところに手が届くような徹底して行き渡ったご指導と情報を得られることで、機能性表示食品について実践的に本質から理解することができました。さらにこの講座の素晴らしいところは、毎回の講座で、普通ではなかなかお会いするチャンスがないような各専門分野のスペシャリストの講師の方々による経験談やアドバイスがいただけ、本当に必要で無駄のない知識や情報だけを集中的に濃厚に学ぶことができたと思います。

また、講座に参加したことで、かけがえのない同志を得ることもできました。みなさん多種多様なご経験をお持ちの個性豊かな方で、これから機能性表示食品で何かしらケミストリーを起こしていきたい！と思っておられるので、せっかくの出会いを機に、持田先生を筆頭にこれからみんなで企業して面白いことをやっていこうじゃないかといった話で盛り上がっているのです。これからはとても楽しみでワクワクしております。

半年間はあっという間でしたが、「機能性表示食品届出者養成講座」は今後の自分の人生のキャリアに大きな影響を与えるであろう、とても意義のある投資でした。ありがとうございました！

## 中小企業診断士、経営コンサルタント（男性、長野）

半年間どうも有難うございました。私は食品関係の知識や実務経験が殆どない中で受講したので、果たして講座についていくことができるのか、今後に活かせるようなことが何か学べるのか、はじめは大きな不安がありました。しかし丁寧に解説いただいたお陰で、自分なりにいろいろな収穫を得ることができ、受講して本当によかったと思います。以下、詳細です。

### 1.体系的な学びができた

「機能性表示食品の届出様式」の体系をはじめ、各法令「景品表示法」「健康増進法」「薬機法」「食品表示法」との関係を(完全に把握できたわけではありませんが)どの法令がどんな役割を担って、どんな関連があるのね、という雰囲気がかつただけでも大きな収穫でした。これらの法規の関連性は独学では全くといって理解できなかつたろうし、相当な時間もかかつたろうと思われれます。

### 2.実践的な学びができた

持田先生が日々アップデートされる不備指摘事項や留意点を説明してくれたり、第一線で活躍するゲスト講師が最先端の実務を講義してくれたり、現場の実践的で生々しい話をきけたのは本当によかつたです。これは、教科書やネットからで絶対に学べないですね。

また実際に手を動かしながら届出演習に取り組み、その内容について一つずつ確認しながら丁寧に解説していただいたことで、実際に躓きそうな部分を理解できたのもよかつたです。

さらに、どこにどんな情報がどこにあるのか、知れたのも大きな収穫でした。

### 3.難易度を知ることができた

受講前は、「機能性表示食品の届出」がどの程度ハードルが高いものなのかさっぱり見当がつかせませんでした。今回、前述したようなことを学んだ結果、どこまでなら自分でもできて、どこからは外部に依頼した方がよいか、ということがはっきり分かりました。

今回学んだことを今後どういう形で実際のビジネスに繋げていくか模索中ですが、まずは食品関係の企業に働きかけていきたいと思っています。実際に仕事に繋がった場合には、持田先生をはじめ仲間の多大な協力を仰ぐことになると思いますので、何卒よろしくお願ひ致します。

また、まだどの企業もやっていないような、「本当によいモノ」「売れるモノ」を新会社で企画・販売できたらいいな、という妄想を勝手に抱いています。何らかの形で携われれば幸いです。今後の展開を楽しみにしています。



最後に、持田先生はじめスタッフ、ゲスト講師陣、同窓生の方々にあらためて感謝申し上げます。本当に6ヶ月有難うございました。お陰さまで有意義で濃密な時間を過ごすことができました。

多謝!!

### 外資系健康食品会社、研究員（女性、東京）

半年間、本当にどうも有難うございました。こんなに楽しく学べた講座は初めてです。受講前は内容についていけるのか、長時間の講義に集中できるのかなど不安がいっぱいでした。心配は不要で、どの講義も興味深く、持田先生をはじめ、講師の方々のよく準備された講義のおかげで集中が途切れることはありませんでした。

勤務している会社でサプリメントを販売しているので、既存製品で機能性表示食品の届出ができないか、そのためのノウハウを学びたいと思っていました。書類作成の細かな注意点などが学べたのは大変良かったです。これから取り掛かる予定ですが、この半年で学んだことを生かしたいと思います。本当は講座と同時進行でやりたいと考えていましたが、別のプロジェクトが忙しくそれができなかったのがちょっと残念でした。

生鮮は私には関係ないと思っていましたが、「ほうれん草」で盛り上がり、生鮮にも興味が沸いてきました。新会社では、みんなで「機能性表示食品」業界と日本の農業に貢献できるように頑張りたいです。まさかこんなことを考えるようになるとは受講前には思いもしていませんでした。

講座の内容、講師陣、同期の仲間たち、すべてが最高でした。本当にどうも有難うございました。

## 外資系化粧品会社、日本代表（女性、東京）

私がこの講座に興味を持ったのは、制度そのものの面白さ（食品は毎日の健康へのアプローチであり、未病での健康管理が人の幸福の大前提であると信じます）と時代性に駆り立てられたからです。機能性表示食品制度のビジネスとしての将来性を信じずにはいられなくなる、持田先生の言質にはそんな説得力がありました。

機能性表示食品制度の拠り所となるべきガイドラインは、旧約聖書に匹敵する言外の謎を秘めた文書だと思います。ダビンチコード顔負けです。平文を読んだだけでは想像だにできぬ深い深い「事情」や「思惑」、そして経緯が隠されていて、それらを少しずつ明かされながら、読み解くのはエキサイティングでした。

機能性表示食品の届出のためには、関係法規や基準、様々な試験法、論文の検索および取舍選択、幅広い知識と煩雑な作業が必要のようです。そこまでは講習参加以前にも想像できたことでした。しかし、養成講座を修了した今は、そのシーンごとに誰に頼ればよいか、いいえ、そもそも窮した際には一人で抱え込まずに、その部分だけを外部に任せすることも必要であることを学びました。そして、一步進んで、そうすることが業界の人材の底上げとビジネスそのものの発展を助け、将来的に自分のビジネスも助けるという企業人としての姿勢も学ぶことができたと思います。

押しなべて、何らかの届出を行うことは煩瑣でかつ孤独な作業だと思います。機能性表示食品届出の作業を学ぶということも、実際に多くの現場でそうであったと講師の方々が話されていたように、独りで試行錯誤しつつ、申請受理に向けて知識とスキルを習得していく地道で孤独な過程に違いありません。ところが、半年もの時間をかけて機能性表示食品の届出を学んだ私ども一期生はみな、立場と職業の違いを超え、困ったら助け合える仲間がいるという確かな手応えを持たたと思います。そして、講座中に各分野の専門家のお話を聞けたお蔭で、必要な情報または人材の所在が想像できるようになりました。もちろん、届け出の電子申請に関しては基礎的な手順は理解できたと思います。

どうもありがとうございました。そして、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。